

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構高速実験炉原子炉施設の変更に係る設計及び工事の計画の認可申請に係る事業者とのヒアリング（10）
2. 日時：令和6年2月13日（火）17：00～18：05
3. 場所：原子力規制庁10階南会議室
※本ヒアリングは、テレビ会議システムで実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、荒井安全審査専門職
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 1名
大洗研究所 高速実験炉部 次長 他4名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配布資料
資料1：原子炉建物及び原子炉附属建物の静的地震力の評価に関する説明書
資料2：地震観測シミュレーションによる原子炉建物及び原子炉附属建物の地震
応答解析モデルの妥当性確認に関する説明書
資料3：1次アルゴンガス系配管の一部改造に係る耐震計算書
資料4：準拠した基準及び規格の変更案について

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	それでは、2月13日の常陽のヒアリングを開始いたします。
0:00:05	今回はPCR管轄系配管の、
0:00:09	一部改造に係るですね、資料をご準備していただいております。それではJA側からご説明お願いいたします。
0:00:17	はいすいません。今日なんですけども、J-R能力の1から4まで、資料を準備させていただいてます。ちょっとすいません。順番的にはちょっと八鍬が説明した方がわかりやすい気がしたので、
0:00:30	すいません4からちょっと説明させていただきたいと思います。
0:00:35	まず6ーなんぼ。
0:00:37	審査会合でコメントいただいた件ですね、基準規格ということで、変更版をお示します。
0:00:45	準拠した基準、10日基準規格ってということで、変更前変更書いてますけども、変更後に研究開発段階で発電用原子炉及びその、
0:00:57	附属施設の技術基準に関する規則の解釈、これを加えると。
0:01:02	いう形にしています。これを加えると、その下、原子炉カバーストのバウンダリに係る解説をするんですけども。
0:01:11	今まで高速の近く使ってますけども、そうではなくて解釈に準拠し、そんなふうな解説を取り得る冷却型高速増殖炉発電所の、
0:01:23	検証施設に関する構造等の技術基準の通りということで、ここでカバーガス分捕りの定義をできるという形になります。
0:01:32	それから、次のページいきまして、強度計算、他においても、
0:01:37	同様に今まで試験研究用原子炉施設に関する構造等の技術基準という形にしましたけども、これを限界の解釈に置き換えるという形です。
0:01:49	そうすると変更後によっては、解釈の別紙1、ナトリウム冷却型高速炉に関する構造等の技術基準の中の、
0:02:01	64条の第1項、58条第1項準用というところを引っ張ってくれるというところで、
0:02:08	おなじ式になりますけども、使えるという形です。それから、平地キャップの部分についても同様にですね。
0:02:18	試験研究炉の技術基準の56条の7号については64条の第7項に読みかえられるというところでその式についても、
0:02:29	こちらを準用することで、きちっと説明できる形になるというところで、この変更で問題なければ、この辺、これで対応させていただきたいというふうに思ってる。
0:02:42	まずは説明。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:44	検証規制庁の荒井です。ご説明ありがとうございました。
0:02:48	資料浮かばないから質問、コメント等ございますでしょうか。はい。規制庁、吉井です。前回 9 月 16 日付けの、
0:02:58	あれですよ。当面の実施手順というのを示して、エンドースという言い方されてたけど、これ。
0:03:06	日付見たら、規制委員会発足の趣旨なんですよ。仕事が滞らないようにこれまでの基準を使っていいよというだけで、ちょっと変動するという意味が違うかなとは思いますが。
0:03:19	これを見る限り、前に試験炉等の技術基準、確かに今使っていると思って、それ多分平成 24 年から、
0:03:31	変わってない。そうですね。やはりこっちがね。
0:03:35	なるほど。
0:03:37	で、まだ他の試験で使っているの、使って駄目ってことは多分ならないんですけども、これから供用の支援されるのか、どっちがいいのかっていう議論かなと思ってます。
0:03:50	思います。
0:03:54	一応こちらとしては資料の 6-4 の、
0:03:57	2 ページ目、ジハン計算で、解釈の別紙 1。
0:04:05	ナトリウム高速の技術基準ここまで帰ってくると、これでいいのかなと。
0:04:12	ほぼ見ます。ただね、1 ページ目に基づいて、
0:04:18	基準を 5 日間で解釈といったところですね。
0:04:23	これ何か白谷さんと思って、これ一つじゃないんですよ。代金なんですよ。しかもその会社っていうところで、パッと見て一般性がわかるか。
0:04:34	女性ってのはここに全部マッチング交通の技術基準で書いてるんじゃないかと。別所主務。
0:04:41	というふうにはずっと思ってるんですけどそのあたりどうでしょう。
0:04:44	ここはちょっと少し幅広いにはそこまで落とし込んでやうとか。
0:04:50	ちょっと厳しいかなっていうのはさんこの下の増ですけど例えば解説っていうのを読み出したり、別紙を呼び出したりするので、そこはちょっと傘広く機会ないんで。
0:05:02	一応この解説っていう形ではあるんですけども、こう考えると、例えば、
0:05:08	第 2 回の申請で、外部火災の評価をするときには、外部火災のガイドを使いますとか、
0:05:16	竜巻のガイドを使いますとか、ナイキも、どっちにしろここには挙げざるをえないので、その位置付けで考えると、ここに解釈って置いておくのは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:26	妥当なのかなあと、いうふうに今、これまでの例を見ても考えていたので、
0:05:32	これでいいのかなと思って今日ご提案させていただいたってことです。そうですね。そうですか。とりあえずはちょっとこれはこちらの中で、また議論していきますよね。はい。一応強い。
0:05:46	この審査書書きながら、ちょっと難しいと思いますけど。
0:05:53	ただこれご存知の通り、ご存知だと思いますけど、見解の基準っていうのが、パブコメ反映写真が載ってるということで、平成 25 年、
0:06:04	公的な約束としては、規制委員会としては、将来、この基準を使うときには僕が反映しますと言って代物なので、
0:06:14	それを今の段階で使えばいいのかな。
0:06:17	そうすると、今高間さんが言ったような話は、何というんじゃないですか。
0:06:26	試験ではですね新許可基準なんかよく審査しましたけど、そんなことを準備するとかかっていう話でちょっと入ってきましたそれをまた根拠のところここに書くかって言ったら、
0:06:37	あえて書かなくてもいいじゃないかということです。だから全部こういう公共の技術基準ってはっきりさしを見るかもしれないと。
0:06:46	入居設計。
0:06:48	逆に機械基準がそういう状況であるというのを考えると、ちょっと限定してもいいのかな。
0:06:54	というのがねちょっとこちらの考えです。
0:07:00	そういう意味で、
0:07:03	本年も準拠した基準価格のところに入れなくて、使ってるところにきちっときちっと変えていけばいいじゃないかっていうことであれば、それはOKですわ。刀禰それでもうちはOKなっちゃうと思います。
0:07:19	ここはやめましょう。
0:07:24	ただその下にあるように、所々で使ってる部分については丁寧に書かさせていただくという。それで、今の話のルート変更前にもともと試験研究炉にその構造的に小さく書いてない所入れてないんですよ。
0:07:38	同じ扱いで落ちた分が少し違うんとして県道の技術基準は、今、難しいですけど、過去のあれとして、お前がそれに従うのが当たり前だろうっていう、指導があったので、あえて書いてなかったんですよ。
0:07:54	はい。そういう歴史が一応あったんで帰って来ないんですけども、おそらく誰かそういったでしょうね。うん。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:00	この間この先また戻ったら困るねっていうのが、栗原さんですね。今回の件については、
0:08:10	今の話でOKですね。
0:08:14	あと拘束力は使わない形にしたので、一番下(9)の設計建設規格は、今回、横尾金戸。
0:08:23	はい。
0:08:27	20日よ。
0:08:28	別にこれでいきましょう。はい。住田さん。
0:08:34	それで、
0:08:36	例えば共同計算書の紙、やっぱ式使ってるところ例えば耐震計算書にもあったりするので、それは同じような形で修正させていただきたいと思います。
0:08:47	ちょっと、ちょっと次の議題に行く前に、この後どういう進め方を考えておられますか。うちとしては、
0:08:57	補正しないといけないので、それから次にお話もありますけども、ある程度ちょっと技術的な話も入ってるので、うちの所聞こえない人避けないと駄目かなと半分ぐらい。
0:09:10	そうなので、中身決まったら、聞こえない審査でずっと印象とあるんですけども、だけで改善書記っていうのは、補正っていう流れになるので、ちょっとこの間よりは時間かかるという国情すいません。
0:09:27	ちょっと今日地震の話がないんだと思うんですけど、あとは決まってチェックしたり、溶接物のところが非常に気になってるんで、言い方どうしようかっていうのはちゃんとしますよね。そういうのが、
0:09:39	今日少し話したい。
0:09:43	こちらの中尾中井が1回やってるので、あれですよ整理としては、これでどの程度整理して駐車しなければ上げていけるんだそうです。あとは、
0:09:54	それに沿って、補正でいける。
0:10:07	溶接のところは、別途説明院長がそこまで、
0:10:11	各会派の説明資料の中で、溶接検査が不要なところの説明のスライドを入れさせていただいておりました。だからそれを入れてくれと言って、逆に審査修正してるぐらい。
0:10:25	了解です。わかりました。
0:10:35	じゃあ、ちょっとすいません。続いて、
0:10:38	この耐震計算書、
0:10:40	6-3の資料になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:45	1 ページ目、昨日マッチングしてはいますが、先ほどの話で、
0:10:50	さっきの話を抜きますかね、話で。
0:11:02	その上で 2 ページ目ですけども。
0:11:05	何か、きちっと今の辺り使った理由を説明するようにという話だったので、
0:11:12	ここできんかの値を使用するところを、水平方向の設計振動のところに入れて います。KIa等、もう少し説明ということで、後でちょっとご説明しますが添付書類 1-2、示すようにということで、
0:11:31	一番新しいやり方を使うと、0.298Gですよ。で、
0:11:36	気にかかるものは、30%の安全裕度を有するので、保守的に評価しますというところ が、
0:11:43	説明を追加しましたということになっております。
0:11:49	トーンになってます。そこでこれは駒井さんのコメントへの対応ということですよ。あと 一番最後のページですね、さっき会社からの技術基準。
0:12:01	お話ししましたが、※3 で今までは試験研究炉の安全基準からいつ、市あたり持っ てきてましたけども、見解の会社からの別紙 1 の数字を持ってきたという形で、
0:12:18	変更していくということになります。
0:12:22	この資料については以上でございます。
0:12:32	これで皆さん行く際、井谷さん、どうぞ。あのね、
0:12:39	ご存知ですかね、HTTR。
0:12:43	行政相談をやってましてね。
0:12:45	ここはこの箇所のチェックポイントの基準は、結果的に図られて高圧ガス保安法の 一般産業基準、
0:12:56	受けて、これはその規格を作ってくれたんです。
0:12:59	向こうで、そこにね幾つもその発言する警察機関っていうのがあるんですけど、それ はね、協力、
0:13:09	読み方がね、ちょっと違うんですよ。設計建設規格の理由は小さいんですよ。
0:13:20	ゾーン。
0:13:22	一緒になってここで、
0:13:25	帰郷所 5 ページか、下に計算結果で、発電用原子力設備規格、材料規格期間。
0:13:34	これがさっき上ね、40 基準で使ってる折り込み比べてどうですかね。損傷がありまし たが、
0:13:48	そこを全部比較すると、多少違ってたんだそうです。この別紙のトレイル冷却型高速 炉に関する工場等の技術基準の中に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:59	二つ目と同じように材料規格と同じような表が載ってまして、そこで使われてる回数 越冬ボルト増除く鋼材材料のJISの採用年度が 90 遠地する分、
0:14:12	95 年のものを採用していて、今の発電用原子力設備規格の材料規格の材料の許容 引張応力と比べると若干数字が、
0:14:26	違ってくるっていうところは、
0:14:29	今の、とりあえず全部ちょっと最新の知見というところで、採用機関を使っています。
0:14:55	これ、これはね、
0:14:58	20、
0:15:01	安全言うと 3.8。
0:15:04	引き続いている安全 4 なんです。黄門
0:15:08	高圧加算漫然いろんなんですよ。
0:15:12	いや、だからね基準を、要するに必要な経つ計算するんじゃない所長スクールなんで すかね、設計建設から。
0:15:19	多分ね、水中ってこういうの最新知見とっていいかどうかちょっとよく慎重で、
0:15:27	伝統すなかなかね新しい全通しない方をしない、こんなところもある。おそらく、
0:15:33	30 年度減らすのがいいののどうかってそれ多分企画やっちゃったんですよ。それ に何のために準拠するかといったところがあって、基本的には
0:15:45	これはやっぱり同じ上重要とすると、農業基準の材料強度を使ってる方が損プラン なんですけども。
0:15:55	それでも結論女性くれいうとか、建てかえから、十分あるじゃないやつも買わないと、 本当大変な結果は変わらないんですけど、こここれから先先丹羽検索ですとか、二 次系で活動しても、
0:16:12	だから、
0:16:14	結局、たまたまこの間言ったもので気が付いたんじゃ。
0:16:21	河津さん今言ってる耐震ってどんな感じですか。
0:16:25	河田です。あのですね今の話なんですけれども、設計建設規格 205 年度版等 2012 年、2011 年の 2 種類遠藤されてまして、
0:16:40	上の見解の記述基準は、05 年度版の材料データに対応してたと思います。
0:16:48	で、2012 年出た材料規格は、
0:16:51	今話したようなテーパカの S 値が見直されてるっていうのがあって、
0:16:56	若干裕度がさ、下がるって書き姉川になってるかと思えます。
0:17:02	逆かな、教育だったかなというのが高くなる方向になってたかなと思えますので、で すけど、両方とも遠藤されていることは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:12	すべるかちやいかなと思うので、2012年が出た材料規格を使うことについては問題ないのかなというふうに思います。はい、ありがとうございます。有吉です確認しまして
0:17:24	一応非次長の方の技術基準の解釈にいろいろこう書いていって、設計建設規格のどうのこうのって言ったところが、確かにその通りだったらそれでいいのかもしれない。
0:17:37	そうです。2012年はないです。
0:17:48	あえてね。
0:17:50	請求建設部に05年は多分その営業されてる町並みに0年でどうですか。それで大丈夫です。
0:17:59	河合です。
0:18:01	例えば名取家については聞き方向けの、
0:18:05	機器配管自体は特に改造する本体を改造することは考えてなくて、DDSを使うという意味もあって、
0:18:16	県改良の基準をそのまま使うということで考えております。
0:18:21	ですので205年度版に対応した共用許容値を用いた耐震評価になってます。今回、シーシーエスは部品を新しく交換するという意味もあるので、新しい方の材。2011年度版の材料規格を設定してるという。
0:18:38	いうふうに理解してます。
0:18:41	えっとね、すみませんちょっと今話が二つあって、
0:18:45	これから取り得る配管の耐震が出てくるんですね。そんなビジネスを使わせて、そう言われると、ディー・ディー・エスが使える材料強度。
0:18:57	使わないと何か矛盾かなという気がして。
0:19:01	そこにあります建設計画が入ってこないような気がするんです。で、一時バス停の方は、これ常務だから、フリーケンス関係ない。
0:19:11	平岩。BSで使ってる材料どうでもいいし、設計建設規格がエンドースされてるのでこっち使いましたと言われても、
0:19:21	それはそれでいいのかもしれないんで恐縮で。
0:19:25	今、岡村さんは、BTS2012年版使うと整形ですよ。
0:19:31	気がしたんです。それは違うだろうと逆算するとですかね。
0:19:35	今ちょっとそうではなくてですね、
0:19:39	今浮いてる経験回路の技術基準の解釈のなく、解釈の別紙の基準の中に、ディー・ディー・エスが入ってましてそれを使うと、使うと考えてますんで。
0:19:51	ですので2005年度版に対応している結果の技術基準の中に入ってる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:58	BSっていう形になるので、問題ないのかなというふうに思うんですけども。
0:20:03	2005年って平成25年車検。
0:20:14	対応してるっていうのは協力がぴったり合ってるんです。205年度版の設計建設規格に出てる。
0:20:24	材料の、
0:20:26	キョウチと。
0:20:28	変化色の解釈に入ってる。
0:20:32	構造等の技術基準の教師が、
0:20:36	性能取れてるっていう意味で、205年ドバーンに対応してるのかなあというふうな理解をしてるっていう意味です。
0:20:46	あと対応してるのであればね、これはあくまで全部県下の会社における冷却の構造の技術基準。
0:20:57	その材料、近く使いましたと言ってくれるのが内田岡安って。
0:21:02	同じだから設計建設規格を使いましたって言われると、またそれチェックしなきゃいけないくて、もちろん見解基準また戻るんですよ。うん。ありがとうございます。今ここで話をしたような、
0:21:13	名取仁木についてはそういう意味で県改良の基準及び、設計建設規格形成規格を読まないで、
0:21:21	今見てる見解量の技術基準を使うということで問題ないと考えてます。或いはどういう形のものであります。今回の、
0:21:33	本当今のは、
0:21:36	これじゃないやつ。
0:21:39	材料規格、設計用エンドースされたものでできるやつは、新しいものを使った方がいいのかなっていうところで、今回であれば、いや、それぞれは多分定型じゃないと思います。今すぐだけど何かややこしいね。
0:21:57	現地会議ロケーションで、現在の前の商品ではないんだけど、concernか付け建設企画本部茂木ラインチーフは0っていう安全、またそれを新しい知見参事を使うべきかなっていう。
0:22:12	ところで、
0:22:14	使えるところは材料規格をきちんと引っ張るべきかなっていう感じです。浅井規制庁がエンドースしたんですね新しいそうですね。
0:22:26	それは引き上げしないんですけどね。
0:22:31	2012個の材料規格は、
0:22:35	遠藤されてるので、それは使うべきかなっていう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:44	土着と考え方は逆で、なんで古井が使ってるのって言われた時に答えられないので、新しいのを我々としては使った方が、
0:22:54	妥当だなんていう。
0:22:56	考え方はうちの中で相談します。しゃべりだねっていうことでもなさそうなはずですし。
0:23:05	制度だけ実際問題あるわけじゃないですか。そうですね、数gがちょこちょこ動かないですから。
0:23:15	間違いなく全部展開できそうです。そうっすね。というところみたいなので、そこは大丈夫です。
0:23:25	ちゃんとやってくれと小柴とは思うんですけどね。これちょっと1回相談しますね。はい。今日は少しこれ、
0:23:36	全体的に、材料規格で読めるところは、ジョセイチョウとか材料規格で使えっていうところで、
0:23:45	今は統一されています。はい、了解いたしました。
0:24:03	資料6-3について他にいかがでしょうか。
0:24:12	すいません。このブロックの3他の資料もそうなんですこれっていわゆる、申請書の中の別紙っていうか点って、どういう扱いせん。
0:24:39	はいはい。これでいいと思います。
0:24:47	私どもとします。ありがとうございます。
0:24:52	こうすると、当間古井新しい数字を、
0:24:58	出てくる。それを説明するための資料も、
0:25:02	その前につけないということで、Jは6-1、1が添付書類の、
0:25:10	シリーズと3の2っていうことなんですけど、3-2で6万2が3号さん。
0:25:16	耐震計算書が3-4になって、強度計算書を3万つくっていうような添付書類の中身になるという形ですね。
0:25:28	すいません。J-6-16-2について、そこは河瀬河原さんからお願いします。
0:25:38	わかりました。
0:25:40	6-1の所ですけども、こちらの方は他、静的振動を出すための建物側の説明書なり、なります。
0:25:51	13ページ目。
0:25:55	出た3ページに建物の説明で、3ページ目、4ページ目の建物を説明し、この後の建物の報道た平面図、
0:26:05	を示しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:07	続きまして 10 ページ目から、評価方針となりまして、こちらの方で、そういった評価をするかという、説明をして、
0:26:17	中身としては次の 11 ページのフロー図のほうで説明したいと思っておりますけれども、一番上から解析評価を開始しまして、二つに分かれて、地盤物性値の評価等建物。
0:26:32	質量構成評価というふうに分かれます。いえ、左側の建物地盤物性値の評価については、千葉大戸解析モデルを設定して、地震動は、弾性設計用地震の実情を使って、
0:26:45	まず地盤の応答解析を行います。
0:26:48	行ってその結果を踏まえて、建物の地盤、建物への入力地震動を設定します。その入力地震動を設定して、
0:27:00	建物の応答解析モデル。
0:27:03	に設定します。この辺りここで建物側の質量剛性評価の値もここに入ります。で、
0:27:11	最低建物固有値解析を行います。この固有値解析結果を用いて、
0:27:17	静的振動についてはこの堀内を用いた濃度、希望の方を用いておりますのでこの経過を用いて、高さ方向の磨き示した高さ方向の分布係数AIですねこれを選定します。
0:27:33	裏を使ってお知らせしまして、次、静的地震力と。
0:27:38	建物の評価のための必要保有水平耐力を算出します。それで静的時の、
0:27:45	地震力に関する評価を終了します。
0:27:50	こちら側の館野幸一加瀬川下についてはこちらの方は、
0:27:54	で、
0:27:55	解析に関する解析評価になりますので今回はここまで来とつ会社については含めないということで、手 1 試料は点線で示しております。本資料の対象外という形で示します。
0:28:09	ここ、ここでは静的地震力と言う必要湧水境界で公表を用いて評価するんですけども、機器の評価としては静的震度も求めればよいんですけども。
0:28:22	それと同時に静的地震力としては、に対して建物の評価と一緒に加えておかないと、まとまりがないので、こういう性耐力についても評価すると。
0:28:34	というような内容になってます。
0:28:37	次のページ 12 ページいきまして、規格基準、
0:28:41	そうですね、それから引きまして、中央材料。
0:28:46	大城委員は
0:28:48	4 ページで入力地震動の説明があります。7 から 15 ページには地盤の解析のための、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:56	ルー概要概要ですね、入力地震動算定土台を打つ。それから、16 ページ以降は、地盤の物性値とか、地盤の解析に必要な、
0:29:08	特性図をつけております。
0:29:12	それから、19 ページいきまして、19 ページからはSDによる地盤の下、一番の応答解析結果を示しております。これは続きまして、
0:29:25	24 ページ目まで行きまして、25 ページ目からは、その建物の地盤の解析結果を用いて、建物の基礎底面 1 着入力します。
0:29:38	そういうことは言ってですね。
0:29:40	寺尾を示しております。
0:29:43	27 ページ目いきまして、
0:29:46	建物に入力する加速度とスピポートのスペクトル図。
0:29:52	をつけております。
0:29:54	ここに 27 ページまでは、水平を行いまして 28 ページ目からは鉛直方向の説明をしております。同様に、
0:30:04	概要の説明と次にいってモデル図。
0:30:08	それから実施用途の堆積結果を示しておいて、最後 32 ページ目に、
0:30:15	建物に入力する加速度応答スペクトル。
0:30:19	を示しております。
0:30:22	次に
0:30:24	33 ページ目から今度は建物が一番の解析結果落ちて、次に行く建物間の地震応答解析のモデルについて示しております。
0:30:34	33 ページがモデル説明で、34 ページ目の解析モデルになります。
0:30:40	3536 が解析モデル諸元を書いておりまして、
0:30:45	187 ページ、須藤助っ人カーブを示しております。
0:30:51	38 ページ以降はそれを受け取る下部のデータを示しております、
0:30:57	4041 ページが、地盤のばね定数、減衰定数を説明しております。こちらに示すように、SD地震は 7 全部で 7 もあるんですけども、
0:31:07	それぞれ波を使って解析しますと地盤のばね定数はそれぞれ、SD力の六島 S_s-D 7 それぞれについて、
0:31:19	技術長数と減衰係数を設定しております。
0:31:25	43 ページ目からは、同様に鉛直のを説明しております。
0:31:30	44 ページ目には、解析モデル、45、46。
0:31:36	については、解析モデルの。
0:31:38	先頭を伴定数の設定ですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:42	47 ページからは、解析結果を示しておりますプレー、こういう値解析結果。
0:31:48	ついてここで示しております。
0:31:51	続きまして、17 ページいきます。
0:31:58	よろしいですか。57 ページについては今度は海水を打ち返せ結果出ませんで、今度は静的地震力の評価について説明しております。こちらの方は、助役の方にも出てくる資金を用いて、
0:32:11	ハートピア食う関係資料について静的地震力の算定式を示しております。
0:32:20	6059 ページにその計算結果を示しております。
0:32:26	59 ページの方は
0:32:29	市の建物、
0:32:30	これがNS方向下のEW方向になります。60 ページは、原子力建物のNSを越えただく多くあります。
0:32:40	61 ページいきまして、
0:32:43	原子炉格納容器の水入江上田です報告している稲毛大河内。ちょっと先ほどのモデル図、ちょっと説明、省略しましたけれども、
0:32:55	すぐ解析については原子炉建物附属建物それは確認沖一体で解析しておりますんでそれぞれの静的地震力の力が算定されます。
0:33:07	で、62 ページからは保有推定体力の評価になります。こちらの方の式を用いて計算してさした結果が 63 ページに示しております。
0:33:18	上がNS方向、下が良いため行われまして、保有必要保有水平耐力と。
0:33:25	実際の建物を持ってます保有すべて入れてくる水平を期待するといまして、9 割 9Mということで安全裕度がどれだけあるかっていうのをここで整理しております。
0:33:38	一番小さい値でも、NS方向の原子炉建物の、
0:33:44	部材番号 2 ですね。
0:33:48	PBR207.8。
0:33:51	それで十分になるという結果を終えてますが最後に、64 ページからは、機器挿見配管系の評価に用いる地震力について示しております。
0:34:02	65 ページ、66 ページにその値を示せまして、
0:34:07	65 ページは原子炉、
0:34:10	建物、66 ページは原子炉建物、
0:34:14	最後のページに、原子炉格納容器の静的震度を示しております。で、今回指針施設の改修に使うし、静的震度については 66 ページ。
0:34:25	の原子炉附属建物、
0:34:29	淡路君、失礼しました 65 ページですね、計資料建物。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:34	原子炉建物のH. 番号 4BMCAPEってありますけどもその右側の方とっていて、
0:34:41	李倉庫が 0.296、下の方、EMチーフの下の方、
0:34:46	右の図で 0.298、この 0.296 棟 0.29 番地の大きい方、0.298 を今回、施設の耐震計算使っていると。
0:34:56	いうの案件になっております。
0:35:00	ちょっと、ざっといきましたけども
0:35:02	6-1 の資料は十分あります。ありがとうございます。原子力規制庁から何か質問コメント等ございますでしょうか。
0:35:14	清安全規制庁の駒井ですけど、ちょっと、まず、枠からを制定いただきたいんですけど。
0:35:22	この資料の位置付けっていうのは、どういうものかっていうのは例えばなんですけれど、今後、次にですね、本体設工認ってドカーンって書いあるじゃないですか。
0:35:35	普通実用炉なんかだと、許可を受けて、その次の最初の設工認って要するに耐震の設工認時ですね。
0:35:42	耐震設計方針書っていうか作ってもらいますよ。2 多様な例だつていうと例えば東海再処理なんかの廃措置なんですけれど、安全対策やらなきゃいけないことで、
0:35:54	許可っぽいことをやったんですけど、その時も、
0:35:57	耐震設計をこうやってやるんだつていう方針、いわゆる許可で言ってた時の方針ももうちょっとブレークダウンしたぐらいの風なイメージだと思うんですけどこういうふうにやりますという、
0:36:09	いうのを作るんですけど、この資料ってどっちかってそういうイメージに近いもんなんですかね。
0:36:15	実際に、第 2 回の申請では、おんなじような話を、当然 Ss-D に対して、やるつもりでいます。
0:36:25	で、第一課の先生いっぱいありますけども、耐震関係のところは、添付書類の中に、これが入ってくるんです。代行者みたいな形で入る感じですかね。方針があつて、これはもう多分方針の一部ですか。なんでオペレーション方針があつて、
0:36:44	方針の一部としてこれが方針評価結果の一部として、これが入ってくる。
0:36:49	形になるので、今回、3 のさっき説明しましたけども、0.298 っていう数字の根拠を一つの節項の中におさめようとする、やっぱこういうのがあつたほうがいいじゃないですかねそれがいいですね、通常なので 6-1 で、静的地震力の評価があつて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:09	06年にはそのモデルが正しいことはシミュレーションで示さないといけないので、この二つがコンビかなっていうところで、今6-1-9-2を用意させていただいているところです。
0:37:20	わかりました。今回の設工認程度作った単独設工認っていうのはそうですね。そういうイメージがあって、なおかつ許可が出た初めての設工認ってこともあって、
0:37:32	こういう静的地震力はこう考えるんだってのがないと、全くね、その説明がないままになっちゃうんで、そういう位置付けなんだろうなど。それは了解しました。その上でね、ちょっといろいろご質問したいんです。
0:37:46	ところがあるんですけど。
0:37:53	刀禰前川さんからはこれクォーターでしか聞いてないんですけど。
0:37:58	このAi分布を出すときに、いわゆるJEAGの式で使ってやってますっていう中に、その建物モデルを使ってますと。
0:38:08	建物は何でモデルは使ってるんだけど、原子炉容器だとかそういったものは一切入ってないんだよと。
0:38:15	ていう話は強いされたと思うんです。要するに連成させないっていう話でね。そういう意味で言うと、えっとね、ページで言うと、何ページ。
0:38:27	例えばですけど、
0:38:30	PDFのページと30。
0:38:33	4ページ。
0:38:35	例えばあると思うんですけど。
0:38:38	これはいわゆる1次元で、下の介護基盤から立ち上がってくるときの1次元波動論でやるときに、
0:38:48	どういう波が伝わっていくのかっていうのを計算ばねを計算しなきゃいけないので、それをやるためにはこういうのを使うんだらうと思うんです。で、
0:38:56	これを使って、例えばですね。
0:39:00	今日の河原さんの説明わかりやすくよかったんですけど。
0:39:05	PDFで11ページちょっと開けてもらえますか。
0:39:09	11ページありがとうございます。こういうような評価を、
0:39:13	今度あれでやりますということなんですけれども。
0:39:16	今ねこの、この今ちょうど画面出てる。
0:39:20	右下の必要保有水平耐力と静的地震力ってあるじゃないですか。ここで言ってる静的地震力っていうのは今後ずっと使うであろう静的地震力の、
0:39:31	考え方を示していただいたと思うんですけど。
0:39:35	ただ、さっきの30何ページかおっしゃったけど、モデルって何か違うんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:41	要するに連成練成してる状態だと思うんですけど。
0:39:47	連成しいやごめんなさい。そこは口頭しか聞いてない河津勘違いもあるかもしれないんですけど。
0:39:53	この関係がもし
0:39:56	違うものでやってるのであれば、違うものであるっていうのがちょっとわかるように据えてもらいたいんです。
0:40:02	使う方がいいとわかりますでしょうか。
0:40:05	はい。ですねまず、解析なんですけれども。
0:40:10	次、15 ページ、15 名。はい。
0:40:16	背弧これも解析の説明してるんですけど
0:40:21	飛田根本農区知らんのはですねこれあの建物。
0:40:26	図を示しまして、その右側の縦長の近く、これは地盤の解析も説明してます。1 次元波動論のですね、下、この右側の、
0:40:36	ATENAまで一番下が解放基盤になって、まずここで、この解析を 1 次元で解析します。そこで、られた。
0:40:47	赤井から解析結果から、34 ページ目の、
0:40:54	方について、ここでは
0:40:57	一番の解析結果をやられた値を用いて、ばねの設定をします。この地盤までって言ったらず地盤ももう、モデル一番モデルになるので、
0:41:10	ここで建物と地盤との連成という言い方をしてるんです。戻り自体が、うん。この地盤までってのは地盤のモデルであるという解釈をして、これで連成してるという解釈してます。
0:41:27	今の説明で、
0:41:30	これはですかね。そうすると、今ちょうど示していただいている 34 ページの中は、こういうのこれの中、
0:41:42	これでしかやらないからこん中に容器とか、そういう重量容器物的なものってのは、こんだけ全部入ってるよってそういう意味ですか。
0:41:52	あと違います。これは建物のうんのフロアを基にして設けて解析してます。で、
0:42:01	立野原子炉容器 2 のことを言いますと、この左側の原子炉建物の出典の四番。
0:42:08	上のフランジを
0:42:12	の 1 になって、その 3 番が下の技術者の方にある耐震振れ止めになっております。
0:42:19	で、検証要件を解析をする時はこの建物の解析結果、四番と三番の出典の方等々、加速度をですね、床応答スペクトルにして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:32	建物にほかに使うと、という形をとっておりますんでこのモデルには機器のモデルまで一緒にしてないという形です。
0:42:40	そうすると違いからすると、失点番号4の中に容器の重量は全部入ってますとそういう理解で、すればいいんですか。ソースフロアの出店がありますんで、原子炉容器以外もですねいろんな機器がついておりますので、そういった人が全部入ってると。
0:42:59	そういう理解です。そういう理解なんですね。だからもう、この今3レベル34ページより詳細な建物、機器連成系ってのはそもそもないと、そういう理解でもいいですねその通りです。鳥居です。
0:43:15	そういうことですか。はいはい。
0:43:19	なるほど。
0:43:24	はい。
0:43:25	それぞれ、もう1個、これ、念のため確認なんですけれど、先ほどねこの資料の位置付けて何ですかってちょっと聞いたのは、例えば今回のBクラス配管のCCSの配管を、
0:43:41	評価するときに、鉛直動って使っていないんじゃないですか、Bクラスで、これ鉛直のモデルもあるんだけどそれは、理由としては、回転ばねレートが設定するときに、やっぱり必要だから。
0:43:55	こういう、
0:43:56	モデルで評価するってそういう理解でいいですかね。
0:44:04	んですねそう。そうですね。静的地震力の説明なので、水平と鉛直分けてしまうよりは、
0:44:15	まとめて
0:44:18	この中に説明した方がいいのかなと思う。それ、それはおっしゃる通りなので最初にこの資料の位置付けはって聞いたんですけど一緒にいる方が素直だ自然なんです。
0:44:31	だから今回CCS上は、
0:44:33	どういうふうに関連するのか或いは関係しないのか、っていうのは、何かどっかわかるように書いといてもらえたらいいなどで、例えばなんですけど、その理由として、
0:44:44	地盤例とかを評価するのに、こすい着も要るんだって使ってるんだとかね、その評価の前段階として必要だから入れてんだと、というような理由があるんだったらそう書いといてもらったほうがいいなど。
0:44:58	お座りがいいと思いますこういう、こういう全体の方針書にした方が、
0:45:02	正しいDCSとの兼ね合いでいうと使っていないのが入ってるなんてそう思ったわけです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:09	全体としてはざっくりと、ざっくりとっていいから主要な建物を持たないと駄目ですよ ね。なので、建物全体の評価がありますんで、最後、静的手法があって、
0:45:21	これもほぼ 0.298 を、耐震の計算にピックアップしましたっていう、いう流れなので、
0:45:28	そうだけど、それってすごい水泳ですよ。うん。鉛直いらんんじゃないかと思っ ちゃう。いや、そこ。
0:45:41	ちゃんとうまく誤解がないように何か書けないかなっていうだけです。今回のこの資 料って、CSのための資料ではあるんだけど。
0:45:51	どっちかっていうと城野全体のことと言っても、そうそう、あそこはね、いや俺はシー ーエスの高見店だと。
0:46:00	私は思っちゃうわけですよ。だけど全体のこと言いたいんだろうなとは思思うん です。それはそう思うんですけど。
0:46:08	その辺何か。
0:46:10	注釈なりなんなり書いて、ただし今回鉛直は、
0:46:15	使わないとか、
0:46:17	使うかそういうのは書けない。
0:46:20	ちょっと河辺さん考えるってことでいいですか。
0:46:23	はいはい。
0:46:28	ここで示せば水平と鉛直なんすけどおっしゃる通り水平は水平駅は一応固定。
0:46:33	解析モデルも違うし、入力地震の違うのでざっくり分ければいいんじゃないのって いう、
0:46:39	そういう見方もあるのか。菅さんちょっと誤解がないようにってこと。こういう資料があ るのは非常にいいことだと思うし、水平と鉛直が一緒に書いてあったほうがいいこと だと思うんです。
0:46:51	ただ今回のCGSとは関係ないよねっていうのがわかるようにしといてもらえたらいい なっていうだけです。
0:46:58	わかりました所。承知しました。はい。静的地震力に対しては垂直ともに評価すると こうなって、そのうちの機器の評価としてはこういった評価は、
0:47:09	こういった点が使えますそのうち施設部施設がこの辺りを今回使うことになりま すというの、そうですね。確か後ろの方の文章で 0.2986 と 20.298 のうち 0.298 を使 いますとかなんかそういう文章があったじゃないですか。
0:47:26	その辺の文章の近くに一緒に書いといてもらうのが一番素直でいいのかなと。
0:47:31	はい、承知しました。
0:47:35	私は、
0:47:37	これぐらいで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:42	優秀。次、お願いいたします。
0:47:51	院長補佐すいません。二番の資料を主催、はい。続きまして6-2の資料になります。こちらの方は、たとえ、回析部分の妥当性確認。
0:48:03	説明するために、地震観測のシミュレーションを行った結果、
0:48:08	説明したものです。ちゃん後は、
0:48:13	設置許可の変更の審査の時の、設計性姿勢の説明の時でも、同様のやつを使って載せております。はい。
0:48:24	3ページにいきまして、
0:48:28	建物の地震計設置位置と観測記録を示します固定、こちらの方は、各2課1階地下2階、デパートの1課に合計4台設置しておいて、
0:48:41	地震時については3311の受信地が設置されてた、当時の地震計はさ、
0:48:49	二つ目の三田井手牛木であったけども、
0:48:52	再受審についてはすべてデジタル式に移行し、してデータを採取していたものと、いうことです。で、この日シミュレーションでは参事の人とそれ以外の、
0:49:04	数の観測結果3種類を用いて、建物解析結果通ず観測値等の比較を整理して示しております。
0:49:15	5ページには、
0:49:17	配置の再電送加速場選定、7ページ目はそのスペクトル3ページ8ページがそのスペクトル図を示しております。
0:49:27	99ページ目、藤戸澤の別の地震では島県沖地震、21年2月13日の地震についても、応答解説加速度等出席等々を示しております。
0:49:48	で16ページ目にシミュレーションの解析結果を示しております、17ページ目以降にその比較を示しております。
0:49:57	311のシミュレーションの結果、捕捉できて、応答加速度どうの値等解析結果を示しております。で、18ページ以降は、
0:50:08	スペクトルを示しております、ちょっと中国すいません15ページ目をとっていいですか。
0:50:17	甲斐関井のモデルのケースについては、建設とケース2の2式について行っております。上の方は、
0:50:25	側面までに、
0:50:28	回転場で、
0:50:30	物を追加した場合、下の方は、水平ばねのみ、側面、これについては製番のみという2種類、要は回転ばねの、
0:50:40	あるなしによる確認をするというようなシミュレーションを行っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:46	それで 17 ページの 2 の結果を示しております、20 ページ目については、福島県沖の地震の結果を示しております。
0:50:57	すみません先ほどさん間違えますすみません 311 の地震と、
0:51:04	それと別の福島沖地震の 2 種類について評価しております。
0:51:09	解析聞いてませんけども、技を回転ばねをつけた方がより観測結果に近い値になってるということでありました。絶対後に 25 ページ目の方に、
0:51:20	この内容を示しております。評価結果という形で示しております。斎木市の地震と福島県沖の地震の観測記録統計解析結果の比較から、
0:51:30	精査によりも、ケース 1 の回転ばねを加えた方が、最大応答加速度を落とすと先生が良いため、3 ケース 1 は妥当な解析を入れるということを確認しているということでこのケース 1 のモデルを使って先ほどの、
0:51:46	静的地震力の方も評価を行っているということになります。
0:51:51	25 ページのそのあとに前向きですちよっと追加しております。ここで追加したのは、電中研の方の報告書にですね、
0:52:00	今日みたいに、埋め込みタイプの建物については会見の場面が有効であるというような文献がございまして、その内容を 2 種類、
0:52:12	ここでつ説明を加えさせていただいております。これはメーカーにしても回転ばねを使えた本。
0:52:18	加えた方が良いだろうという結論にしております。
0:52:23	ご説明は以上です。
0:52:26	ご説明ありがとうございます。規制庁わからないか、質問コメント等ございますでしょうか。
0:52:34	すみません。ちよっと規制庁の駒井ですけど、
0:52:38	念のため確認なんでしょうか。
0:52:45	25 本の 25 ページの、
0:52:52	ですね。
0:52:54	第 3 パラグラフあたり。
0:52:59	ナンバー 1 ですけれど、これの 2 行目で、1 時間のモード現世についてちよっと研究されてるんですけど。
0:53:10	これって剛性比例の、
0:53:14	減衰。
0:53:16	モデルを使ってるってことでいいんですか。
0:53:54	すみませんちよっと剛性減衰になってるかどうか。
0:53:58	はちよっと今、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:59	いや即答できなかつたら、ちょっと調べておいてもらってどうい
0:54:10	で、何が言いたかったっていうと、ここをもうどげんについてすぐその大戸とかにもよく聞 く、聞くっていうか当たり前だけど、聞いちゃうんですけれど。
0:54:21	減衰ってそもそもね、力を弱めるわけでそこまで考え方が書いておいて欲しいんで すよ。
0:54:31	わかりました。どっか刀禰今野その第 3 パラグラフのどうでもいいから、どういう考え 方で、
0:54:38	書いてる、設定してるってのがわかれば、
0:54:46	いや、これね、所の資料はないです。口銭ちゃんと残しとかなきゃいけない、そういう 考え方はね、ちょっと残しておかないとね、後で見てわかんなくなると良くないので。
0:54:58	それだけです。はい。以上です。はい。はい、ありがとうございました。
0:55:08	ございますでしょうか。
0:55:14	ちなみにこれ許可の資料と全く同じですよ。
0:55:17	さっきから聞いたんだらう。秋田さんですよ。ぐらい。麻生麻生です。このあたり終 掘起こしましたということですよ。他は全部許可のときやって。
0:55:31	いや今ね、これ駄目だとは言えない。
0:55:34	天野。
0:55:35	説明しましたけどって言われてなっちゃうけども、
0:55:39	はい、いいと思います。
0:55:51	大丈夫ですかね。
0:55:55	ただ、今日ご準備いただいた資料ではこれで、
0:55:58	以上です。大丈夫ですか。ありがとうございます。ございます。お疲れ様でした。
0:56:02	続きまして、2、
0:56:05	江藤委員、お願いします。吉井です。
0:56:13	2月6日資料をチェックして、
0:56:19	溶接検査用紙の 26 ページです。これで突き合わせじゃないでしょう。よろしいです か。
0:56:35	だからこれ見たら、管理運用部長、突合せ溶接でやってたら、ここで引っかかって そいつだったら、これ、その文章読めないね。
0:56:49	まず思ったんです。
0:56:53	それで、これは試験炉の技術基準解釈使ってるのは初めて正しくて、これもそう ですよ。
0:57:01	こっちに行くだらう。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:11	由井主幹のところを突き合わせによる設備であって書いて同じことを書いてあるところの違いじゃない。そうすると三重県開発部の溶接部。
0:57:22	及び、Murotaniを説明を要する人は、自分探傷試験または浸透探傷試験かけて、
0:57:30	チーフは、
0:57:31	そうすると、
0:57:33	それも固溶説明が聞けば、
0:57:37	ちょっと何て言ってますよって言って、耐圧検査の管理がPTやるっていうから、実際PTがあるんでしょ、当然が。
0:57:48	いやとかあります。必要はない。
0:57:51	耐圧試験の大体のところ、PDっていうところが出てきていて、使用の検査項目の中としては、耐圧検査の代替部門。
0:58:07	2、プラスPTを用いて行う。
0:58:11	落としていきます。だからそれがこの基準で読めるかって言ったところで、事実関係としては、普通は行政センターがPTぐらいすると思って。
0:58:21	実際もらってるそれでいいですかね。PTA一切しないってことじゃないでしょう。コメントすべてゼロPTは確認はしてありますよね。普通やったら、東江田ぐらいっていうか、
0:58:34	予算の耐用年数をやる前に、PTで全部確認した後に大した数できる部分に対しては、加圧して対応試験をしておりますし、藤丸議長はやってると思って後はその位置付けをしましょうかって言います。
0:58:48	必ずしもあれで、検査による配管の敷設で突き合わせをするじゃない。
0:58:54	配管でつき合わせるのが、寸法の長さで切って、次底の部分はすべて差し込み溶接になるので、
0:59:04	配管等配管を溶接するっていう部分が今回は存在なくて、配管等継ぎ手の溶接のみになっているので、
0:59:14	それはすべて差し込み溶接ん。
0:59:18	今日の日経のデータを受けましたね。はい。
0:59:22	メーターって最終的に物の貼り方を使うところがあると思うんですけど、それ以外のところ、
0:59:28	ちなみに、そこをつき合わせるってそれって、分岐管箇所の短期の場所の分岐のついて、差し込みで4000です。
0:59:39	突合せではない。
0:59:42	それで、公明党もご存知だと思いますけど、基本的には、
0:59:48	突合せですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:53	ご質問等ございますけども、突き合せによるもの自体は突き抜けるってなってて、
1:00:00	明日は藺田吉川氏の近くに編みたいなと思って、数字は見てないんですけど。
1:00:06	多田常務資料は突き合わせ貯層検討使ってる、ということですね。あそこは多分議事にあると思うんですけど。
1:00:13	すいません。だから多分そのところに対する目標の寸法で落とせないよねと。それで、耐圧部の溶接引っかかってきて、
1:00:27	そうですけど、これ周辺が大変つぶれないという説明があるから、そこに入れていいんですか。
1:00:33	だから要するに件数としては、現状は対象外。
1:00:42	経営、
1:00:46	月役溶接があって、下に該当するものはこれやりなさいって言っておりますので、もし該当しないんで。
1:01:00	すみません衛藤もう1回、わかりますか。
1:01:04	キャンプの読み方は逆じゃないかって言って、突合せ溶接をする場合には溶接計算をやりなさいよっていう。
1:01:13	規定じゃないのかつつう。
1:01:15	宗曾我山川さんの話ですよ。
1:01:23	そう。これはそれで突合せ溶接する場合は阿部手嶋さんになって、交渉後継だったら安定しないでいいよと書いてます。今回突合せ溶接じゃないので、
1:01:35	そもそも溶接検査は、
1:01:41	基準じゃない、溶接検査は、
1:01:45	いらんんじゃないかっていうこと。
1:01:47	益子宮村さん、宇津木野木、二番で4万というのが、
1:01:54	内容の主幹の予定があって、これを1に掲げるものの不足なんです。だから、この中に掲げるものが突き合わせて全部来てるやつから始めてるんじゃないかと思うんですよ。
1:02:09	開発というところは、我々コタツなるから。うん。普通だと言ってしなきゃいけないはずなんです。
1:02:18	これというのが、
1:02:22	了解です。これちょっと、今答えになる問題なって欲しいんと答えられないなら、ちょっと申し上げた成立して、ちょっと自分のところ整理させていただければ、ちょっとね、はい、整理していただいて結構ですけど。
1:02:38	事実関係としてちゃんと教えて欲しいなっていて、やるよねと、まさに言わないと思ってるので、普通、吉江。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:48	磯野ですけど、今のこちら議会では開発部と引っかかって、関係あると言ってるから、結局どっかで言われると思ってるんですけど、だから整理の問題だとは思いません。
1:03:02	位置付けが違うとまた計算とか関係するから。そうですね溶接検査としてやるのと、開発代替としては、溶接検査は違うんですよね。
1:03:12	照明の整備、こちらに皆さんと思いますけども、雑誌が文章だったらみんなそげな。
1:03:26	私は当たり前なのが決まってるんだけど、ふと気がつくと、東京証券ってね、そういうこともあって、プロセス結果処理できやすいし、見つけにくいと。
1:03:37	もう奈須木崎前田みたいな話だって言って、
1:03:43	今城山田の時もそうやろうって言うてるから、ちゃんと現存しないとまずいんじゃないかなとはちょっと思ってるんです。
1:03:51	特にそれを基にして、一応こういう質問。はい、そうです。
1:03:57	だから、
1:04:00	だからちょっと厚めがさっきかけた分は、今手元にはない。
1:04:07	施設とか、
1:04:10	ちょっと手元に手元に探してるんですけど、ちょっと、
1:04:18	さっき言った、これ溶接非破壊検査代表しかこれこれはね、
1:04:23	ここにんなものは、李に行くんでしょ。
1:04:26	右から耐圧部の溶接位置に係るものづくりだから、
1:04:30	突合せじゃなくて蘇武と越野くんのかと思ったんです。そういうのもちょっとよくわかるけどね。
1:04:38	という形にこうなんだとして、
1:04:40	耐圧部のって書いてるから、そちらの説明見たら資料の開発部でないという説明してるので、当社主要な開発部でないってことはここ外したのかなというふうに思います。
1:04:51	もうちょっと、そうすると何か、
1:04:55	本当はもう一つ次の違う考え方言わないですね。
1:05:01	決めたんです。
1:05:02	それはここは説明者古金なんかのこっちの方に主要な手続きがあって、ここは外れるってのはそうなんですけど。
1:05:15	お金も、ト部グループAグループの五藤小出。
1:05:19	何か例えばね建設地みたいに言ったようなところがあって、全部やつらないから。
1:05:26	主要なサイズにこう絞るっていうのは、これは何かそれで落としたのかもしれないんですけど、今回これだけですか。そうすると、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:34	どうなんすかね。この到着商業とやっぱりやんなきゃいけないかな。
1:05:37	どういうふうにして、そこをねちょっとよく見て欲しいんです。
1:05:44	当初理解しました。はい。さっき言った明確なんでよくわかんないけど、溶接計画安いですよ。聞いてあるんで、そこはちょっと慎重にやって欲しいなとは思いますが。
1:06:13	これはちょっと時間延長いたします。
1:06:18	ヒアリングの内容は以上ですけれども。はい。JRの方は何かございますでしょうか。大丈夫ですかねます。
1:06:29	それでは本日のヒアリングを終了いたします。ありがとうございました。どうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。